

平成27年度 第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 平成27年5月14日（木）
2. 開催場所 北秋田市役所 本庁舎 3階 大会議室
3. 開会及び閉会 開会：午前10時00分 閉会：午前11時15分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
委員長 永井 高道
委員 佐藤 正俊
委員 吉田 美樹
委員（教育長） 三澤 仁
5. 欠席者 ＜北秋田市教育委員会＞
委員 小林 真
6. 出席事務局員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 長崎 幸雄
総務課長 松橋 久司
学校教育課長 遠藤 元博
生涯学習課長 佐藤 要
スポーツ振興課長 福田 公人
総務課総務係 主査 佐藤 礼介（書記）
7. 案件
 - （1）北秋田市総合教育会議運営要綱の制定について
 - （2）北秋田市教育大綱の策定について

8. 会議録

長崎教育次長	<p>おはようございます。 ただいまから、第1回北秋田市総合教育会議を開催いたします。 初めに、津谷市長より、ご挨拶をお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>おはようございます。 本日は、第1回目となります、北秋田市総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。 日頃より、教育委員の皆様には、当市の教育行政の施策に対しまして、様々な角度から、ご助言、ご指導を頂きまして、誠にありがとうございます。 ご承知のとおり、この度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴いまして、この4月から、新たな教育委員会制度が始まりました。 変更点といたしましては、各自治体の首長が、教育長を直接任命することとなったほか、総合教育会議を主宰し、教育目標や施策の基本的な方針を定めることになっております。 今後は、この総合教育会議によりまして、教育行政の大綱を策定し、施策を推進していくこととなりますし、様々な課題に対しましても、解決に向け迅速に対応して参りたいと考えております。 教育という政策は、子どもから大人、高齢者まで、と、非常に幅広い対象者を相手にしなければならない政策でありますし、少子高齢化に伴う新しい課題にも取り組むことになっていくと思っておりますが、皆様におかれましても、今後も当市の教育に対しまして、引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます、第1回目の総合教育会議における、私の挨拶といたします。 どうか、これから、よろしくをお願いいたします。</p>
長崎教育次長	<p>どうもありがとうございます。 続きまして、三澤教育長より、ご挨拶をお願いいたします。</p>
三澤教育長	<p>今日の会議は、新たな教育委員会制度による、記念すべき、第1回目の総合教育会議です。このように、市長と、教育委員が一堂に会する会議は、年に2回ほど、開催される予定となっております。 この会議においては、北秋田市における「学校教育」「社会教育」</p>

<p>長崎教育次長</p>	<p>「スポーツ」という教育全般にわたり、市長と教育長、そして教育委員の方々が、教育理念や方針、施策や事業等について、お互いに胸襟を開いて、自由闊達な協議や意見交換が行われることが望まれます。</p> <p>現在の当市の教育の実状を申しますと、学校教育においては、各小中学校とも良好な環境にあり、実に落ち着いた状況の中で様々な活動が展開されております。学習状況を見ましても、全国学力学習状況調査や県の学習状況調査においては、全ての教科において県の平均を上回っており、概ね良好な状況にあると言えます。</p> <p>生活についても、特に問題と見られる事案もなく、知・徳・体との調和がとれ、地域との交流をとおして、地域に愛着と誇りを持つ子どもが増えてきております。</p> <p>社会教育やスポーツ活動については、市民の一人ひとりが、誰でも、いつでも、どこでも、自由に参加できる、を合言葉に、公民館や体育館等を活用しての学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動や体験活動、趣味・レクリエーション活動等、年齢等を問わない多種多様な活動が積極的に展開されております。</p> <p>当市の将来像である『「自然』『ひと』が調和し活気とぬくもりのある交流都市』を実現するためにも、新たに設置された総合教育会議が、その一翼を担えるためにも、お互いが心をつなげて、会議が運営・推進できますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>次に、本会議の趣旨を、本日お集まりいただいている皆さんと共に、改めて確認させていただきたいと思っております。事務局より趣旨説明を行います。</p>
<p>松橋総務課長</p>	<p>第1回目の総合教育会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>それでは、私からこの会議の趣旨をご説明させていただきますが、まず初めに、配付資料の確認をさせていただきます。1つ目が、今日の次第と案件を綴ってホチキス留めしてある資料でございます。次に、大綱であります、カラー刷りになっております。それぞれの部門毎に分かれてホチキス留めになっております。学校教育編。生涯学習編。スポーツ振興編。この3部になっております。</p> <p>それから、資料といたしまして、文部科学省で出されております、</p>

今回の教育委員会制度の改正に関する説明のパンフレット。A3版の両面印刷、カラー刷りのものが1枚。

それから、資料の最後になりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」といったもので、今回の総合教育会議に関する部分の抜粋を綴じている資料です。

以上が、本日配付している資料でございます。配付漏れ等、ございませんでしょうか。

それでは、趣旨の説明をさせていただきます。文部科学省で出しているパンフレットを見ながら説明させていただきます。

パンフレットをお開きください。今回の地教行法の改正により、教育委員会制度が大きく変わりました。ポイントが4つございます。

まず1つは、従来置いておりました「教育委員長」と「教育長」を一本化し、「新教育長」を設置することになりました。「新教育長」は首長が直接、議会の同意を得て任命をする、ということになりました。

それから2つめとしては、教育長の権限が非常に強くなるということに伴いまして、そのチェック機能を強化するというところで、会議の透明化ということが謳われております。具体的には、会議録を作成して公表する、というようなことです。この「公表」については「努力義務」ではありますが、国のほうの指導では、ほぼ全ての市町村において漏れなく公表してくださいという指導がなされております。

3つめと4つめではありますが、この2つのポイントが、今回の総合教育会議に関する部分であります。「全ての地方公共団体に、総合教育会議を設置する」ということになりました。

ポイント3の部分に図で書かれているように、従来の教育委員会制度では、いわゆる首長は「教育委員がいるので、あまり教育には口を出さないほうがいいのか？」というような、多少、遠慮気味な考えを持っているのに対して、教育委員のほうは、「予算の権限を持っている首長は、いったいどのように考えているのかな？」という吹き出しがあります。お互いがお互いに「どのように考えているのかな？」という気持ちを持っているのが、従来の教育委員会制度でありました。

これを解消すべく、首長を主宰者とする「総合教育会議」を設置して、教育政策に関しての重要な案件に関して、この会議で協議す

	<p>る、ということになりました。</p> <p>さらにポイント4では、この会議では、各市町村において教育に関する「大綱」を話し合っ、首長が策定するということが同時に謳われております。</p> <p>この総合教育会議は、緊急を要するような事案が発生した場合には、首長と教育長の2人で開催することも可能ということになっております。</p> <p>ご存知のように、他県で生徒の自殺等の事件絡みで、首長部局と教育委員会とで、連絡がうまく取れていなくてだいぶ混乱したという事例が過去にありました。そういったものを解消するために、住民から選挙で選ばれている、住民の代表である首長が中心となって、そういった事件・事故等には迅速に対応にあたるということが可能な制度になりました。</p> <p>以上の4点が、今回の改正の大きな部分になります。</p> <p>先程、教育長の挨拶にもありましたが、大体年に2回ほど、年度当初と、新年度の予算編成に取り掛かる前くらいに、総合教育会議を開催したいと考えております。</p> <p>以上が、総合教育会議開催の趣旨説明でございます。</p>
長崎教育次長	<p>それでは、ここから案件に入ります。</p> <p>案件（1）北秋田市総合教育会議運営要綱の制定について。これについて、事務局から説明いたします。</p>
松橋総務課長	<p>はい、それでは案件（1）の説明をさせていただきます。</p> <p><案件（1）の説明></p>
長崎教育次長	<p>ただいまご説明しました要綱案につきまして、何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（意見等、特になし）</p>
長崎教育次長	<p>特にご意見等ないようですので、改めて、ご承認いただいたということよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（各委員より「はい」の声）</p>

長崎教育次長	<p>それでは、要綱案の「案」を削除いただき、今後の会議の運営につきましては、この要綱に基づいて行ってまいりたいと思います。</p> <p>次に、案件（２）の北秋田市教育大綱の策定について、協議に入りたいと思いますが、ただいま承認いただいた要綱第３条第３項により、議長は市長が行うこととなりますので、津谷市長に案件の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、津谷市長、よろしく申し上げます。</p>
津谷市長	<p>それでは、要綱に基づいて、議長を務めさせていただきますので、皆さん、ご協力をお願いいたします。</p> <p>まず、案件（２）の北秋田市教育大綱の策定について、事務局より説明をお願いします。</p>
松橋総務課長	<p>はい。それでは、教育大綱の案につきまして、全体を通しての概略につきまして、私から説明させていただいた後に、各担当課長からそれぞれ各部門の説明を行いたいと思います。</p> <p>まず、カラー刷りの大綱の案をご覧ください。</p> <p>３つの部門、それぞれの３編から構成されております。「学校教育編」「生涯学習編」「スポーツ振興編」。いずれも共通しているところが、「北秋田市総合計画」のメインテーマである「『自然』『ひと』が調和し、活気とぬくもりのある交流都市」を土台とした「北秋田市後期基本計画」に沿って作成しております。</p> <p>これらは、それぞれの部門で作成した計画やビジョンを、今回、「大綱」の案として提示しております。学校教育課では、今年度新たに作成した「北秋田市学校教育ビジョン」を、生涯教育では、平成２４年度に作成しております「第２次北秋田市社会教育中期計画」を大綱の案としております。また、スポーツ振興課では、平成２５年度に作成しております「スポーツ振興基本計画」を、今回の大綱の案とさせていただきます。</p> <p>それでは、大綱案のそれぞれの部門については、各担当課長より説明を行います。</p>
遠藤学校教育課長	<p><教育大綱（案）「学校教育編」の説明></p>
佐藤生涯学習課長	<p><教育大綱（案）「生涯学習編」の説明></p>

福田スポーツ振興課長	<p style="text-align: center;">＜教育大綱（案）「スポーツ振興編」の説明＞</p>
津谷市長	<p>ただいま説明のありました「北秋田市教育大綱（案）」について、何かご意見、ご質問等を頂きたいと思います。教育委員の皆さん、何かございませんか。</p>
佐藤委員	<p>はい。</p>
津谷市長	<p>はい。佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>各課からの大綱案ですが、素晴らしいものができたなと感じています。特に、学校教育のビジョンに関して、「重点目標1」の「施策の柱（1）」の「方針」に、「一人一人の子どもに目が行き届く」と記載されております。とても大事なことだなと思います。これに結びつくのが「いじめ」や「不登校」だと感じています。</p> <p>教育委員会の会議の中で、いつも不登校の子ども達の状況が報告されますが、「少なくなってきた」とは感じておりません。どちらかというと「少しずつ増えてきている」のではないかと思います。</p> <p>こういう状況から考えると、この部分はとても大事な部分だと思います。この部分を学校で、どう愛情をもって接することができるか、という大事な「柱」の1つだと思います。</p> <p>ここの部分を学校側にしっかりと伝えていきたいものだなと感じています。</p> <p>もう一つ。ここ数年で北秋田市の学校統廃合が進み、学校教育環境が大きく変わりました。素晴らしい学校教育環境が整いつつあります。ここで大事なことの1つとして、「廃校になっている校舎の在り方」というのがあります。これらをどう活用していくかが、この大綱案の中には見えてこないような気がします。廃校舎の在り方というのは地域住民にとっても大事な部分ですので、これからそういった部分も考えていかなければならないと思います。</p> <p>私が教育委員に就任してからは、竜森小学校が廃校になりました。浦田小学校が廃校になり、前田小学校と米内沢小学校にそれぞれ統合となりました。そしてこの4月から合川地区の3つ小学校が統合となり、新しい校舎に入りました。</p> <p>これらを考えた場合、学校が無くなった地域にとって、廃校舎を</p>

	<p>どう利活用していくか、ということが教育委員会にとっての大きな課題だろうと思います。大変難しいなと思います。</p> <p>新しい学校ができたからそれでいいということではなく、無くなった部分について、どう大事にしていくか、ということを考えていくことも我々教育委員会の大きな仕事でないかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
津谷市長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>次に、永井委員、お願いします。</p>
永井委員長	<p>ただ今の佐藤委員のお話に関連してですが、地域の家庭の状況が変わってきているのではないかと感じています。従って、学校ではもう少し家庭の状況を把握することに意を用いてほしいと思います。今は「プライバシー」という言葉が強調されているのですが、問題が深刻な状態で発生してしまってからでは遅い。学校の調査にも限界があるでしょう。</p> <p>当然地域を含めた対応も求められます。プライバシーの保護という観点を押さえながら、子ども達が生きる対応を考えなければと感じております。</p> <p>それから、小中学校における学習指導、学習環境は充実していると思うのですが、最終的には「キャリア教育」ですので、高校、さらにはその上の進路状況の分析が大事だと思います。</p> <p>そういうことになりますと、北鷹高校との連携をいっそう充実させる。積極的に要請・要望することも出てくるのではないのか、と思います。</p> <p>もちろん、当地域の経済的な問題など、要因は絡み合っているとは思いますが、現在当市に1校になった「北鷹高校」との関係に、力を尽くしていくべきではないかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
津谷市長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>次に、吉田委員、お願いします。</p>
吉田委員	<p>私からも一言、お話をさせていただきます。</p> <p>私の地元は合川地区ですので、合川地区を中心に見ております。</p> <p>この4月に合川小学校が開校して、私の家の前を登下校する児童</p>

の姿が見られるようになりました。私もとても嬉しいなと思っております。しかし、やはり、まだスタートしたばかりで、通学に関しての方針がきちんとできていないのかなと、少し不安に思うことがありました。現在、合川小学校に通っていらっしゃるお子様の保護者の方から、実際にそのような声が上がっております。今はまだ、歩いて通学しても、子ども達もそんなに大変ではないので大丈夫なのですが、冬期間のことを懸念される方がおられました。統合前の説明では、

「夏も冬も徒歩です」と言われたそうなのですが、いざ学校が統合されてからの PTA か何かの時の学校側の説明では、『「冬場の通学については保護者にお任せします』ということ言われたんですよ」という方がいらっしゃいました。その方は「冬場はどうしたらいいんだらう？」という話をしていました。冬場は雪の中、あの橋を渡って通うのは大変だと思います。しかし、これはやはり、「基本は徒歩」という方針を変えないで、状況によっては保護者の方が送り迎えしていただいても構いません、というようなことにしていかなければ、保護者の方が今一番悩んでいらっしゃると思います。冬はまだまだ先だと思っていらっしゃると思いますが、とても大事なことだと思いますので、なんとか教育委員会のほうからも、道を一本示してあげられたらいいのではないかなと思います。

それから、合川小放課後児童クラブについてです。これまでは4つのそれぞれの旧保育園を活用されていたので、とても広く、良い環境で、子ども達が走り回ることができて当たり前という状況でした。それが、いざ新しい児童クラブができました。建物は新しくいいのですが、子どもの数もすごく増えて、「走り回れなくてつまらない」という声がお子様から出ているようです。これは仕方ないことなのですが、先ほどの大綱案の説明でもありましたように、体験教室などを実施していただけるようですので、良かったなと思います。放課後児童クラブを、「学校の延長」と考えていいのかなと考えたときに、私個人的には「そうではないのかな」と思います。やはりあくまでも、「子ども達が家に帰るまでのサポート」であると思うので、「学校の延長」と考えるのは違うと思うのですが、子ども達を預かる以上は、退屈しては可哀そうなので、ぜひ、大綱案で示されたような体験教室などいろんな手立てを考えてほしいと思います。今までの環境が良すぎたので、子ども達も少し戸惑っていると思います。新しい放課後児童クラブでもいろんな楽しいところがあ

津谷市長	<p>るということを経験していくと、別の意味での楽しさを覚えてくれるのかなと思います。ぜひ、頑張っていたきたいと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>この大綱案について、それぞれご意見などを頂きながら、それから小学校統合後の現状の問題点だとか通学の問題点だとか、いろいろな具体的なご指摘も頂きました。</p> <p>そこで、私から1つ。例えば、学校教育や生涯学習でもそうなのですが、子ども達、地域、家庭、という話があったのですが、大人の方々に対する教育、要するに大人の方々が道德・マナーを守っていない気がします。子どもは学校や家庭できちんと教わっているわけですがけれども、せっかく子ども達が社会的なルールを守っていても、大人がそれ守っていない。それを、子ども達が見た時にどう思うか。大人の教育ということであれば「生涯教育」になるのか。その辺も考えていただければありがたいなと思いました。</p> <p>議長役の私あまり喋っても仕方ないので。あと他にありませんか。この後も皆さんにご意見を伺う時間もございますので、今、委員の皆さんから出た件に関してご意見など、もし、ございましたらいろいろとお聞きしたいと思いますので。</p> <p>この他に大綱案について何かございましたら、よろしいですか。</p>
三澤教育長	はい。
津谷市長	三澤教育長、お願いします。
三澤教育長	<p>はい。この大綱案は、あくまでも「骨子」「柱」「方針」「目標」というものを「大綱」としております。特に「学校教育編」については、各学校に周知は行うのですが、重点的な取り組みについては各学校の地域性なり、特色を活かしながら、思う存分、校長のリーダーシップの下に展開してほしいと考えております。私のほうから「こうしてください」というような、手かせ足かせは一切行いません。それぞれの学校の校長と教師が、「良し」と判断したことを思う存分やってほしいと考えております。</p>

それから、学校教育の一番大きな課題は、この通り年々子ども達が減少してきています。今まで、小学校再編計画に基づいて、平成28年度までの計画を進めてきましたが、それ以降については、まだ計画・立案していません。しかし、放置しておくことはできませんので、新たな、中学校も含めた再編計画に取り組んでいかなければならない。これを1つ、大きな課題と捉えております。

義務教育児童で言いますと、合併当初、小学校は16校あったのですが、現在は11校。今年度いっぱい鷹巣西小学校が統合となりますので、来年度には10校になります。今後、阿仁部の小学校なり、中学校なり、どんどん児童・生徒が減ってきておりますので、そちらのほうも手懸けなかなければならない。具体的に言いますと、平成32年度には、前田小学校の全校児童が38名になる見込みです。現在の児童数は66名います。阿仁合小学校が、現在32名いるのが、平成32年度には28名。大阿仁小学校が、現在28名いるのが、平成32年度には22名。このように、本当に小規模の学校になります。

これまでも、何とかしなければならぬということを考えると、特に阿仁地域においては、学校間の「距離」。遠距離になってしまうものですから。統合した場合の通学にかかる時間的な問題。あるいは子ども達の疲労の問題、健康的な問題も考え、なかなか進められなかったけれども、最近ではですね、地元の方々から「うちほうの学校をなんとかしてほしい」という声が上がっております。早速、阿仁合小学校、大阿仁小学校、これに前田小学校も含めて。旧町の枠を越えますが、こういったことを考えながら、学校の統廃合を検討していかなければならないと思っています。

それから、中学校について。鷹巣南中学校が平成32年度には全校生徒数が99名。同じく、森吉中学校が100名。阿仁中学校が32名。合川中学校が112名。鷹巣中学校でさえ279名となる見込みですので。5つの中学校を合しても622名しかおりません。中規模の中学校くらいにしかありません。昔はこの位の人数の中学校が普通にあったわけですけども。このような状況ですので、旧町の枠を越えた新たな編成を考えていかなければならないと思います。

それから、学校再編により、目的が終了した旧校舎をどうするかについてですが、単に教育委員会のみならず、新市街づくりとして

佐藤委員	<p>も利活用については考えていかななくてはならないと、模索している状態でありまして、なかなか良い活用法が見つからない状況です。耐震補強しなければならないという校舎については解体してですね、更地にして、新たな利活用を考えていったほうが良いのではないかなと思います。そういったことも考えていかなければならないと思います。</p> <p>合川小学校の通学についてですが、小学校も中学校も、保育園も、限られた時間に、一気に子ども達が集まりますので、「合川銀座」と呼ばれているようなんですけども。当然そこには、送り迎えの車も多数通りますので、交通上の安全を考え、新たなルールづくりなども必要になってくると思います。今後、保護者も含めて、学校と話し合っていかなければならないと思います。児童クラブもそうですね。</p> <p>それから、家庭における教育をどうするか。これも、学校と保護者が連携しながら、家庭の教育を高めていくということが必要だと思っています。</p> <p>それから、北鷹高校との連携ですが、これは当然必要ですね。確かに、小中学校ではきめ細かな指導が行われております。だからといって、高校に行って同じようにきめ細かな指導がその発達段階の生徒に合うかという、そういうことでもないし。</p> <p>ただ、私が常々思っていますのが、高校生の校外における生活の在り方について、もっと、高校の先生方は目を配ったほうが良いのではないかなと。学校を出た後、高校生がどんな生活をしているか。あるいは、通学途中の姿はどんな状況であるか。そういったことも見てもらいたいなど。そういうことも感じております。</p> <p>そういった諸々の課題もありますので、いろいろとこの総合教育会議の中で話し合っていけたらなと思っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>私からもう1つ。</p> <p>先日、阿仁地区のある保護者から「うちの学校はいつになったら統合するのですか？」という質問がありました。その方は小学校の低学年の保護者でしたが、切羽詰っている、といった感じでした。「将</p>
------	--

津谷市長	<p>来が心配だ」という話をされてきました。</p> <p>このままだと、本当に少人数の学校で、複式、さらには複々式までいってしまうのではないか、という保護者の不安な気持ちをお話されてきました。</p> <p>そこで私が話したのが「市民が声を上げてくだされば、市のほうも頑張るのですよ」と。市のほうから言われるのではなくて、市民の皆さんから、「学校はこのようにあってほしい」という思いを、言葉にすることによって市にも伝わっていくので。市民の皆さんの思いが固まっているのであれば、ぜひそれを伝えてほしい、ということをお話しました。</p> <p>学校の統合を進める際は、いつも市の教育委員会が難儀しています。統合におけるいろいろな問題について地域住民や保護者に対し説明して、ようやく理解を得ている。こういう状況でありました。</p> <p>できれば、市民のほうから、そういった声が出てくるようになってほしいと思いました。</p> <p>もう一つ、「中学校」も大変な問題を抱えています。部活ができない、ということです。その学校によっては「部活動」を1つ減らすのも、大きな問題です。その学校の校長の判断で「部活動」を1つ減らすとなれば、保護者からお叱りを受ける、ということも不安であるようです。ということで、なかなか、結論を出せないでいる学校もあるようです。</p> <p>そうした中で、早めに学体連との話し合いも必要になってくるだろうし。せっかく子ども達が部活を頑張っても、人数が揃わずに大会に出られない、という状況になってしまうのもどうかな、と思います。</p> <p>そういったことから、早めにその辺は考えていかなければならないと思います。</p> <p>ありがとうございました。まずここで案件のほうを整理させていただきたいと思います。</p> <p>いま、この大綱案についていろいろと意見が出されましたけれども、案については認めていただきながら、あとは、細部にわたる部分はいろいろと事務局のほうでまとめていただくということで、この大綱案に関しましては、ご承認ということでよろしいでしょうか。</p>
------	--

	(各委員より「はい」の声)
津谷市長	<p>ありがとうございます。それでは、ご承認していただきましたので、これに沿ってお願いしたいと思います。</p> <p>続いて、案件3の「意見交換」となっておりますが、先ほどからの大綱案の話の中でも、既に意見交換みたいになっておりますが。引き続き、何かお気づきの点とか、普段考えられていることなどがありましたら、お聴きしたいと思います。</p>
永井委員長	はい。
津谷市長	永井委員、どうぞ。
永井委員長	<p>私は、先ほどの市長のお話の中で、「まさにそうだな」と感じた部分がありました。高齢化社会における、中高年者のモラルを含めた生涯学習の深化が求められそうな事故、事件が、マスコミに登場します。時に、「もう少し、良識のある行動を」と思うようなレポートが続きます。</p> <p>当地でも、脱帽すべき場所での着帽は、男女に見られるようになりました。私を含めて、中高年者の「自立」、「自律」に連なる自覚が大切だと思っております。</p> <p>以上、これらは私の意見です。</p>
津谷市長	はい。ありがとうございました。他に何かありますか。
佐藤委員	はい。
津谷市長	佐藤委員、どうぞ。
佐藤委員	<p>先ほど教育長から、高校生の生活指導について話がありましたので私からもお話をさせていただきます。</p> <p>以前は、合川高校が市立高校であったので、我々教育委員が学校訪問を行い、高校に対して意見を述べることができていました。しかし、北鷹高校の場合、この北秋田市にあるけれども、県立高校であるため、意見を述べる場というのがありません。</p> <p>子どもを育てるのは「市民の目」だと私は考えています。何のた</p>

	<p>めに北鷹高校があの場所に設置されたかということを考えるべきだと思います。たしか、以前聞いた話では、市民の目で高校生を育てていくという目的から、あの場所に北鷹高校を設置することになったというふうに言われていた気がします。ですので、我々の目が重要になってくると思います。その目で、しっかりと子ども達を見てあげないと、やはりいい方向に育っていかないと思います。</p> <p>それから、このことと少し関連するのですが、先ほどから話題に出ている合川地区の小中学校についてですが、あの場所に、保育園、小学校、中学校が設置されているということを考えたときに、先生達がどう関わって子ども達を教えるのか。例えば、中学校の生徒は小学生や保育園児のお手本になるような中学生であってほしい。あるいは、保育園児から見ると、「ああいう小学生になりたいな」と思えるような。小学生も保育園児のお手本になれるような。そういう意味からも、合川地区の学校環境というのはとても大事なところだと思うし、他の地域にも手本となる場所でないかなと思います。そういうことから、合川地区の保育園、小学校、中学校が一つに集まって、みんなで話し合っただけで育って行くということが必要でないかなと私は感じています。</p> <p>このことを考えた時に、スクールバスも大きな問題だと思います。スクールバスだと、地域の目に全く触れないで学校まで乗せられてきて、帰りも地域の目に触れることなく家まで送られていく。地域の人達が子どもに声をかける時間・場面が無い。そうやって育って行く機会が欠けてきたなという気がします。</p> <p>以上です。</p> <p>今、佐藤委員がお話されたように、高校生については、市民の方々に見られているという意識が子どもを育てるとするのはその通りだと思います。あるいは、中学校と高校の先生が、お互いに授業を見合うというような連携も考えていかなければならないかなと思っています。お互いの指導の在り方なども含めて。</p> <p>小学校、中学校、高校がしっかりしていくと、きっと高齢者もしっかりしていくと思いますね。</p> <p>それでは私から。 私は毎朝、通勤の際に、内陸線や JR を利用して降りてきた北鷹高</p>
三澤教育長	
佐藤委員	
津谷市長	

長崎教育次長	<p>校生に会うと「おはよう」と声をかけると「おはようございます」と、しっかり挨拶が返ってきます。そういった姿を大人が見ても、大人は全然声をかけなかったりします。ところが、小学生、中学生はしっかりと「おはようございます」と声をかけてくれます。こういったのを見ていると、大人自身も、恐れずに、声をかけるべきでないかなと思います。</p> <p>それから、北鷹高校と連携という話がありましたが、北秋田市の事業や教育委員会の事業に関して、北鷹高校に何とかお願いして、参加・協力してもらっています。しかし、それに対して頼りきってしまうというのもあまり良くない。何でもかんでも「北鷹高校」に頼ってしまうと、「彼らの本務は何なのか」ということになってしまうので、その辺はきちんとわきまえていかなければならないと思いますし。</p> <p>ですけれども、先ほど話が出たように、小学生、中学生にとって模範となってほしいと思います。以前、鷹巣農林高等学校がスキー大会で優勝して商店街をパレードした際に、「やっぱり我が町の高校だ」という話を地域の方がしており、「地域の間人が高校を育てていなくてはならない」という話もしておりました。</p> <p>現在は4つの高等学校が統合となり1つになりました。これは「北秋田市民にとって大事な北鷹高校だ」という意識づけをしていかなければならない。そうすれば、学校長をはじめ北鷹高校生、学校側も、「大事にされているな」という意識になっていくのではないかなと思います。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>他にありますか。</p> <p>無いようであれば意見交換はここまでとさせていただきます。</p> <p>今回、この総合教育会議ということで、教育委員の皆さんからいろんなご意見を承る機会ということで、非常に楽しみにしておりました。これからも、いろいろなご指導やお気づきの点などがあれば、教えていただければありがたいなと思います。宜しく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の案件が全て終了しましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>続いて、「その他」でございますが、何かございますか。</p>
--------	---

<p>松橋総務課長</p>	<p>無いようであれば、事務局より今後の予定を説明いたします。</p> <p>本日、第1回目の北秋田市総合教育会議を開催いたしました。今年度中に、もう1回くらいは開催したいと考えております。新年度の予算編成・予算要求が行われる前に、今年の9月か10月くらいに1度開催してはどうかと考えております。</p> <p>日程につきましては、後日、事務局より皆さんにお知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>長崎教育次長</p>	<p>それでは、以上で、第1回北秋田市総合教育会議を閉会させていただきます。</p> <p>ご参加された皆様、本日は誠にありがとうございました。</p>